

ARTS AND CULTURE

VOL. 16 2022

文化芸術

- ◆文化芸術振興議員連盟新会長に塩谷立衆議院議員が就任
- ◆新役員挨拶
- ◆芸団協とともに松野官房長官、末松文科大臣へ緊急要望を手交
- ◆芸団協による緊急調査  
「実演芸術の再生に向けた提言に関するアンケート」結果から
- ◆文化芸術振興議員連盟 会の目的と活動方針
- ◆文化芸術推進フォーラムとは
- ◆会員名簿

## 文化芸術振興議員連盟新会長に塩谷立衆議院議員が就任

文化芸術振興議員連盟は、2021年12月15日に総会を開催し、前身の音楽議員連盟（1977年設立）時代から数えて第7代目会長として、塩谷立衆議院議員を選出し、また新たな役員体制も決定した。[新役員名簿はp.06]

当日は、先の衆議院解散をもって引退した河村建夫前会長も出席し、文化芸術振興議員連盟、文化芸術推進フォーラム双方より、長年に亘る文化芸術振興への献身、特に「文化芸術省」構想の推進や、コロナ禍における文化芸術界への大規模支援の実現に対し、改めて感謝と敬意が表された。



河村建夫前会長を囲んで

## 新役員挨拶



会長 塩谷立  
(衆議院議員・自由民主党)

この度、伝統ある「文化芸術振興議員連盟」の会長を拝命いたしました。これまで長年、会長としてわが国の文化芸術の発展のためご尽力された河村建夫前会長に改めて心より敬意を表すとともに、継承すべき責任の重さを強く感じています。

新型コロナウイルスにより多くの芸術活動が停止し、文化芸術関係者は甚大な被害を受けました。同時に我々は、自粛期間のネット配信等も含め、芸術家が奏でる調べ、力強い歌声、アーティストのパフォーマンス等に多に励まされ、文化芸術がいかに日々の生活の支えとなり、困難な状況を乗り越えるエネルギーとなることを改めて実感しました。

「文化芸術の灯を消さない」との強い思いで、我々文化芸術振興議員連盟のメンバーは支援策の策定に奔走しました。これまでのわが国の文化政策を転換し、芸術団体、芸術家自身を支援する新たな枠組みを創設し、過去類をみない額による文化芸術への予算措置を行うことができました。

しかしながら、わが国においては、世界に誇るべき文化があるにもかかわらず、社会全体で文化芸術を支える、という意識が未だ低いと言わざるを得ません。

今こそ文化芸術行政を国家戦略として位置付ける「文化芸術省」を創設し、真の文化芸術立国への道筋を示すことが求められています。

開かない幕に涙をのむ悲しみを繰り返してはなりません。ポストコロナを見据えた変革の時代だからこそ、人間の価値観の根源でもある文化の継承と創造が求められています。

引き続き当議員連盟は文化芸術推進フォーラムの皆様と目指す方向性を共有し、わが国の文化芸術の発展、世界への発信に取り組んでまいり覚悟です。



副会長 福山哲郎 (参議院議員・立憲民主党)

豊かな歴史と伝統に根ざした日本の文化芸術は世界に誇るべきものです。コロナ禍で改めてその価値を再認識した人も多いと思います。引き続き、コロナで厳しい状況になった文化芸術活動の基盤を支えながら、新たな展開を見据えた動きへの支援拡大に向けて、法改正を含めた検討をしていきたいと考えています。

文化芸術振興議員連盟の役員として、また京都選出議員の一人として、文化芸術活動に携わる個人・団体への平時からのサポート体制の整備に積極的に取り組むとともに、若年層をはじめ多くの方々が文化芸術に触れる機会を増やし、文化芸術立国としての魅力を国内外に強く発信してまいります。



幹事長 山谷えり子 (参議院議員・自由民主党)

これまで議連が推進役となり、世界トップクラスの文化立国を目指していこうと超党派で歩みを進めてまいりました。

私は自民党の文化立国調査会長もつとめており、文化GDPの拡大、文化による地方創生の実現、文化コンテンツの海外発信など、予算の確保とともに技術の継承や原材料の確保・修理等の拠点整備なども推進してまいりました。

伝統や文化を次の世代へ歴史とともに繋いでいく中継ぎ役は、大変大きな重責を担っていると、日々感じています。

世界に高く評価されている日本文化を守り発展させていくために議連の先生方と力を合わせて務めてまいります。



副幹事長 古屋範子 (衆議院議員・公明党)

この度、副幹事長に就任いたしました公明党副代表の古屋範子です。

皆様とともに、日本の文化芸術の未来を創るため尽力してまいりますので、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

文化・芸術は、人の心に感動や安らぎと勇気を与える力を持ち、いつどのような時にも人々の心を和ませ、励ます力があります。そして、困難に直面している時こそ、その真価が発揮されます。今、コロナ禍にあつて、私自身その一人ですが、このような時だからこそ、必要としている人々が多くいることを忘れてはなりません。

新型コロナウイルス感染症の収束には、まだ時間がかかると思いますが、文化芸術振興議員連盟の一員として、より多くの方々に芸術文化の素晴らしさと必要性をお伝えしてまいります。

文化芸術分野のコロナ禍からの再生、さらなる発展に向けて、皆様とともに活動してまいりますので、何卒よろしく願い申し上げます。



常任幹事 赤澤亮正 (衆議院議員・自由民主党)

この度、文化芸術振興議員連盟常任幹事に就任させていただきました、赤澤亮正です。自民党の文化立国調査会で山谷えり子会長の下で会長代理をさせていただいております。

文化芸術は人間形成において極めて大事な分野であります。文化芸術分野は、コロナ禍により大きなダメージを受けています。回復及び更なる発展に、今後とも真の文化立国を目指して文化芸術振興議員連盟の常任幹事として文化芸術の振興に積極的に取り組んでまいります。



## 芸団協とともに松野官房長官、末松文科大臣へ緊急要望を手交

文化芸術推進フォーラムの構成団体の一つである公益社団法人日本芸能実演家団体協議会（芸団協）は、2021年10月20日～11月1日にかけて、実演家・スタッフ等の個人と、芸術団体・事業者等を対象とした緊急調査「実演芸術の再生に向けた提言に関するアンケート」を実施しました。この最新調査の結果もふまえて、芸団協が作成した「文化芸術の活動継続と再生に向けての緊急要望」を、2021年11月16日に岩田経済産業大臣政務官、11月17日に松野官房長官及び末松文部科学大臣に手交しました。

実演芸術界は、2020年2月末から2021年10月まで約20か月にわたり、公演等の中止・延期の要請、観客収容制限等を受けてきました。しかし、企画～会場おさえ～チケット発売～稽古～本番まで長期の準備期間を要する実演芸術においては、活動回復にまだ時間と支援が必要な状況が続いています。

補正予算により、公演等の事業にかかる経費補助金が設けられましたが、すでに事業の中止や延期で減収し、コロナ禍収束の見通しも立たない状態の中で、企画・事業を立ち上げて活動を継続していくことは、さらなる運営状態の悪化、ひいては業界全体の弱体化にも繋がりがねません。

文化芸術の灯を消さないために、文化芸術振興議員連盟として、引き続き国による文化芸術関係団体・文化芸術関係者の双方への存続維持・活動継続のための支援を要望していきます。



右から、伊藤信太郎事務局長、松野博一内閣官房長官、福島明夫芸団協常務理事、野村萬芸団協会長、松武秀樹芸団協常務理事

### [緊急要望の要点]

- 一定条件を満たす実演家・スタッフ等の個人への定額支援金の制度「活動継続支援金」の創設
- 一定条件を満たす芸術団体・事業者に対する固定費を含めた事業規模に応じた支援金「芸術団体等活動継続支援金」の制度創設
- 文化芸術基本法に芸術家、芸術団体への支援を明示、芸術支援についての法的基盤の強化・整備

\* 「文化芸術の活動継続と再生に向けての緊急要望」の全文は、日本芸能実演家団体協議会ウェブサイトからご覧いただけます。

<https://geidankyo.or.jp/2021/11/17/1700/>



右から、伊藤信太郎事務局長、浮島智子事務局次長、鰐淵洋子文部科学大臣政務官、末松信介文部科学大臣、野村萬芸団協会長、福島明夫芸団協常務理事、金井文幸芸団協常務理事

## 芸団協による緊急調査「実演芸術の再生に向けた提言に関するアンケート」結果から

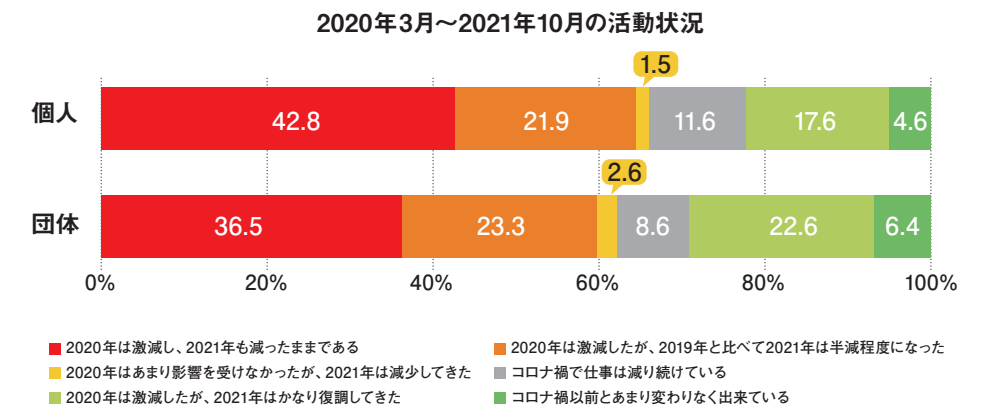
対象 | 芸団協を構成する正会員（70団体）・賛助会員（7団体）、その傘下の実演家・スタッフ等の個人／芸術団体・事業者等の団体

実施期間 | 2021年10月20日～11月1日

有効回答 | 芸術家・スタッフ1,355件／芸術団体・事業者266件

### ■活動状況の変化

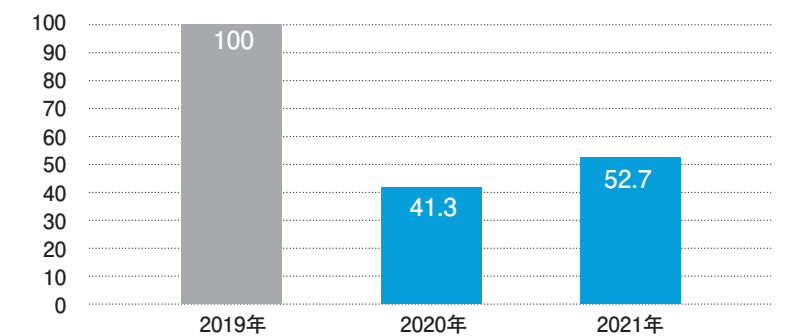
「2021年はかなり復調してきた」「コロナ禍以前とあまり関係なく出来ている」という回答の合計は、個人で22.2%、団体で29%。個人、団体ともに7割以上は依然として活動の回復には至っていない。



### ■芸術活動収入の変化（個人）

2019年を100とした時の2020年と2021年の芸術活動収入変化について、2021年の見込みもコロナ禍以前の約5割である。

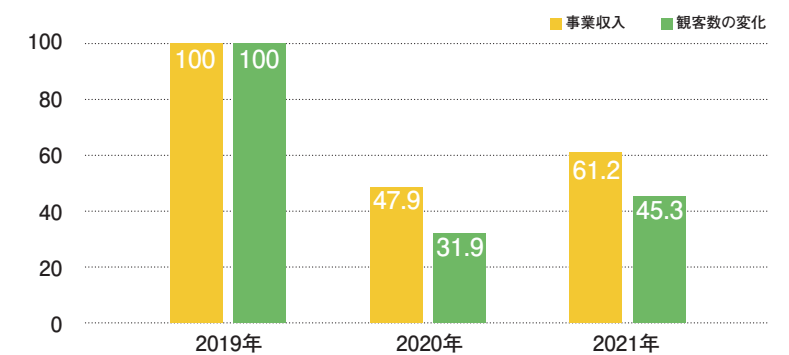
### 2019年を100とした場合の2020年、2021年の芸術活動収入の変化（個人）



### ■事業収入と観客数の変化（団体）

2019年を100とした時の2020年と2021年の事業収入変化と観客数について、いずれも2021年は2020年と比べると若干の回復傾向が見られるが、コロナ禍以前と比べるといまだ厳しい状況である。

### 2019年を100とした場合の2020年、2021年の事業収入と観客数の変化（団体）



## 文化芸術振興議員連盟 会の目的と活動方針

この会は、音楽、演劇、舞踊、演芸、伝統芸能など実演芸術、映画及び美術等の文化芸術を通じて、国民のなかに豊かな情操を養い、またあらゆる機会をとらえて行政府、立法府の文化政策の方向について、抜本的な意識改革をめざす一方、わが国の実演芸術、映画、美術界等が直面する諸問題に対し超党派で寄与し、文化芸術の振興を図ることを目的とする。

2012年、音楽議員連盟は文化芸術推進フォーラムと連携し、第180回国会において衆参両院で国会史上初となる『文化芸術政策を充実し、国の基本政策に据えることに関する請願』を全会一致で採択した。

音楽議員連盟は1977年の創設に当たって「行政、立法府の文化政策についての意識改革」を標榜し、舞台入場税の撤廃、著作権・著作権隣接権制度と文化芸術政策の充実をめざし活動を進めてきた。

そしてその活動を一段と高めたのは2001年の「文化芸術振興基本法」の制定であり、それ以降、文化芸術に係わる予算の増額、税制の改善を着実に進め、デジタル時代に対応する著作権課題等への対応を進めてきた。

2012年には実演芸術振興の要となる「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」を制定し、基本法を受けた個別法への取り組みを行った。このほか日本の伝統文化の振興を図る「古典の日に関する法律」、インターネット時代に対応した違法ダウンロードに対処する「著作権法改正」など文化芸術面における施策進展の年であった。

2013年、音楽議員連盟36年の活動成果を踏まえ、文化芸術振興基本法のさらなる具現化、文化芸術立国をめざし音楽議員連盟の名称変更、活動内容の充実とその実現のための組織体制の強化に取り組んできた。

2017年には文化芸術振興基本法の16年ぶりの改正、新たな文化芸術基本法の制定に取り組み、2018年には新法に対応し、文化行政の機能強化による組織体制と文化予算の拡充に取り組み、「これからの

日本に求められる文化を所掌する〈文化芸術省〉」をまとめた。

2019年は国会芸術祭を開催し、文化芸術省実現に向けての決議を行い、認識を広めた。

2020年、新型コロナウイルス感染症拡大からの甚大な影響から文化芸術の灯を守るため積極的に活動し、支援を進めた。2021年、コロナを乗り越えていくための正念場である。以下、活動を強力に推進する。

- 2021年、コロナを乗り越えていくため、文化芸術への支援を継続的に進める
- 芸術家、芸術団体等の活動を支える法的基盤の整備を進めるとともに、2022年文化芸術関係予算の大幅増をめざす
- デジタル時代、グローバル化社会に対応して懸案となっている著作権課題の解決をめざす
- 国家予算に占める文化予算の割合を中長期的に0.5%に高めることをめざす
- コロナからの再生、文化芸術立国実現のため文化芸術省の創設をめざす

会長	塩谷立（自由民主党）
副会長	福山哲郎（立憲民主党）、 市田忠義（日本共産党）、 古川元久（国民民主党）
幹事長	山谷えり子（自由民主党）
副幹事長	古屋範子（公明党）
常任幹事	赤澤亮正（自由民主党）
事務局長	伊藤信太郎（自由民主党）
事務局次長	浮島智子（公明党）

2022年1月31日現在

## 文化芸術推進フォーラムとは

2002年1月29日、前年の文化芸術振興基本法成立を支援した舞台芸術、音楽、映画等、文化芸術に関わる芸術関係団体が集い、文化芸術振興基本法推進フォーラムが発足。2003年4月1日より、同フォーラムは「文化芸術推進フォーラム」と名称を変更し、現在は23の団体で構成。文化芸術が社会において果たしうる役割を十二分に発揮していくことを目指し、同法の理念の浸透、啓発、政策提言などの活動を行っている。議長は野村萬（能楽師／公益社団法人日本芸能実演家団体協議会会長）。

【構成23団体】	
■公益社団法人日本芸能実演家団体協議会	会長 野村 萬
■一般社団法人日本音楽著作権協会	理事長 浅石道夫
■一般社団法人日本レコード協会	会長 村松俊亮
■一般社団法人日本音楽出版社協会	会長 稲葉 豊
■一般社団法人日本楽譜出版協会	会長 佐々木隆一
■一般社団法人日本音楽作家団体協議会	会長 石原信一

■芸術家会議	会長 堤 剛
■公益社団法人日本オーケストラ連盟	理事長 佐藤隆文
■一般社団法人日本クラシック音楽事業協会	会長 入山功一
■公益財団法人音楽文化創造	理事長 中田卓也
■一般社団法人全国楽器協会	会長 中田卓也
■公益社団法人日本演劇興行協会	会長 安孫子 正
■公益社団法人全国公立文化施設協会	会長 野村萬斎
■劇場等演出空間運用基準協議会	会長 堀内真人
■芸術文化振興連絡会＜PAN＞	
■一般社団法人コンサートプロモーターズ協会	会長 中西健夫
■協同組合日本映画監督協会	理事長 崔 洋一
■協同組合日本シナリオ作家協会	理事長 佐伯俊道
■一般社団法人日本映画製作者連盟	会長 島谷能成
■一般社団法人日本美術家連盟	理事長 中林忠良
■一般社団法人全国美術商連合会	会長 中村 純
■一般社団法人日本美術著作権協会	理事長 吉澤昭博
■一般社団法人日本写真著作権協会	会長 田沼武能

## 文化芸術振興議員連盟 会員名簿

<b>衆議院（第1議員会館）</b>		
高木錬太郎	立民	[304]
牧 義夫	立民	[305]
藪浦健太郎	自民	[321]
浅野 哲	国民	[406]
笠 浩史	立民	[408]
和田義明	自民	[410]
斉藤鉄夫	公明	[412]
逢沢一郎	自民	[505]
中川正春	立民	[519]
関 芳弘	自民	[603]
宮内秀樹	自民	[604]
藤井比早之	自民	[615]
大串正樹	自民	[616]
大岡敏孝	自民	[619]
細野豪志	自民	[620]
伊東良孝	自民	[623]
遠藤利明	自民	[703]
後藤茂之	自民	[704]
玉木雄一郎	国民	[706]
松本剛明	自民	[707]
松島みどり	自民	[709]
大塚 拓	自民	[710]
中野洋昌	公明	[722]
枝野幸男	立民	[804]
城井 崇	立民	[807]
小熊慎司	立民	[808]
前原誠司	国民	[809]
泉 健太	立民	[817]
鰐淵洋子	公明	[924]
伊佐進一	公明	[1004]
亀岡偉民	自民	[1006]
平井卓也	自民	[1024]
谷川とむ	自民	[1104]
鈴木淳司	自民	[1110]
吉田宣弘	公明	[1114]
平沢勝栄	自民	[1115]
牧原秀樹	自民	[1116]
林 芳正	自民	[1201]
岸 信夫	自民	[1203]
小林史明	自民	[1205]
安倍晋三	自民	[1212]
田嶋 要	立民	[1215]
村上誠一郎	自民	[1224]

<b>衆議院（第2議員会館）</b>		
伊藤信太郎	自民	[205]
藤丸 敏	自民	[211]
伊藤忠彦	自民	[222]
八木哲也	自民	[319]
吉田統彦	立民	[322]
西村明宏	自民	[324]
松田 功	立民	[401]
中村裕之	自民	[406]
堀内詔子	自民	[407]
稲津 久	公明	[413]
小林茂樹	自民	[501]
古屋範子	公明	[502]
甘利 明	自民	[514]
逢坂誠二	立民	[517]
三ッ林裕巳	自民	[522]
船田 元	自民	[605]
柿沢未途	自民	[611]
森山浩行	立民	[613]
下村博文	自民	[622]
城内 実	自民	[623]
松原 仁	立民	[709]
北村誠吾	自民	[714]
佐藤英道	公明	[717]
山下貴司	自民	[719]
平口 洋	自民	[804]
浮島智子	公明	[820]
奥野信亮	自民	[1001]
古川元久	国民	[1006]
早稲田夕季	立民	[1012]
武井俊輔	自民	[1017]
赤澤亮正	自民	[1022]
谷川弥一	自民	[1101]
加藤勝信	自民	[1104]
渡辺 周	立民	[1109]
稲田朋美	自民	[1115]
三谷英弘	自民	[1120]
西岡秀子	国民	[1124]
今村雅弘	自民	[1210]
塩谷 立	自民	[1211]
鈴木隼人	自民	[1215]

衆議院議員83名

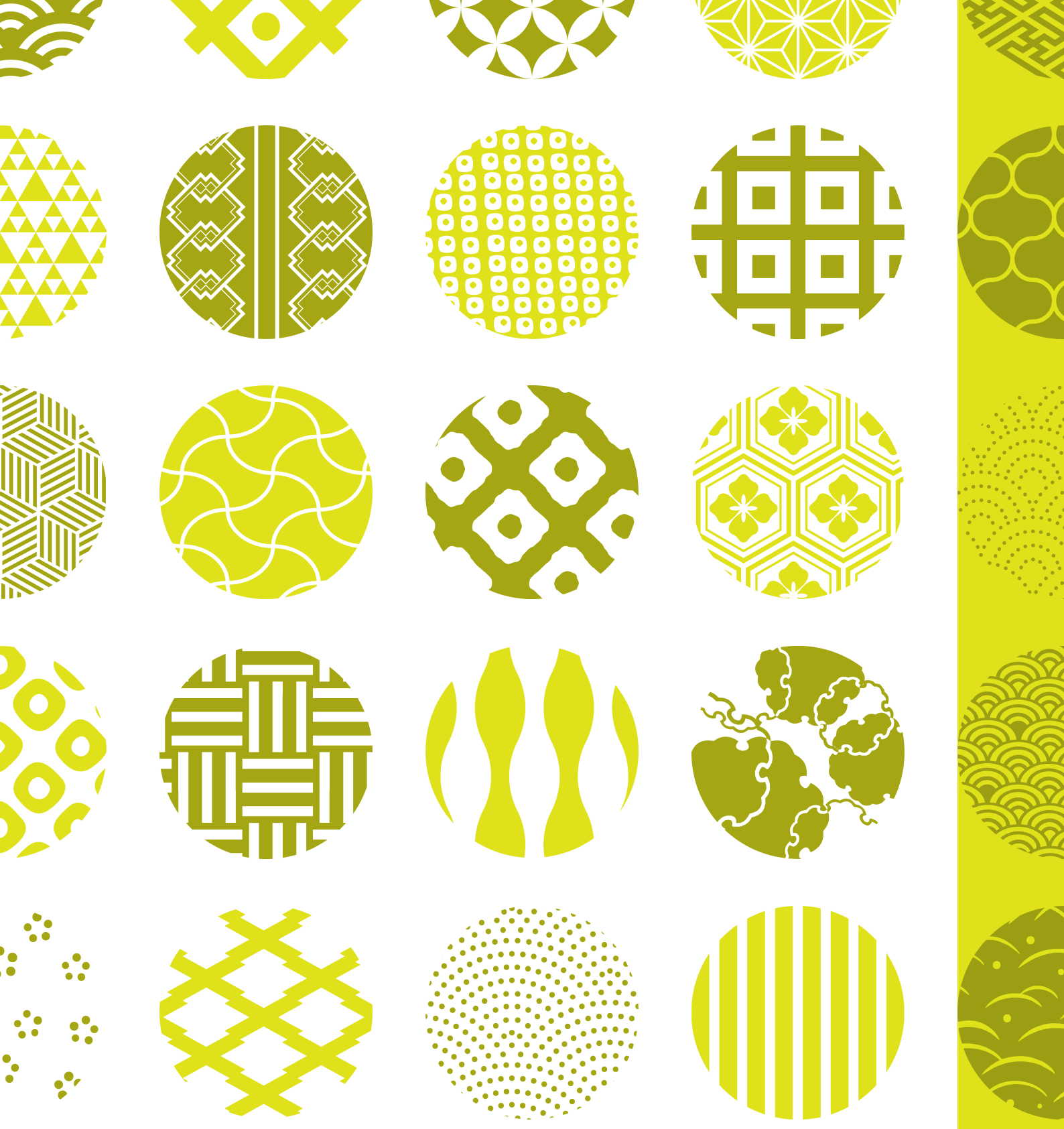
<b>参議院</b>		
水岡俊一	立民	[305]
太田房江	自民	[308]
山東昭子	自民	[310]
今井絵理子	自民	[315]
野田国義	立民	[323]
松川るい	自民	[407]
安達 澄	無	[419]
吉良よし子	共産	[509]
市田忠義	共産	[513]
佐々木さやか	公明	[514]
赤池誠章	自民	[524]
三宅伸吾	自民	[604]
横澤高德	立民	[702]
佐藤 啓	自民	[708]
こやり隆史	自民	[716]
進藤金日子	自民	[719]
福山哲郎	立民	[808]
牧野たかお	自民	[812]
山添 拓	共産	[817]
加田裕之	自民	[819]
松下新平	自民	[824]
田村智子	共産	[908]
下野六太	公明	[913]
堂故 茂	自民	[1003]
藤末健三	自民	[1009]
小沼 巧	立民	[1012]
倉林明子	共産	[1021]
石田昌宏	自民	[1101]
猪口邦子	自民	[1105]
山谷えり子	自民	[1107]
古賀之士	立民	[1108]
北村経夫	自民	[1109]
新妻秀規	公明	[1112]
塩田博昭	公明	[1117]
山下芳生	共産	[1123]
若松謙維	公明	[1207]
小池 晃	共産	[1208]
鈴木宗男	維新	[1219]
和田政宗	自民	[1220]

参議院議員39名

合計 122名

\* 2022年1月31日 現在、[ ]内は室番号





文化芸術 VOL.16 2022

2022年2月18日発行

発行 文化芸術振興議員連盟  
事務局 〒100-0014  
東京都千代田区永田町2-1-2  
衆議院第二議員会館205号室  
伊藤信太郎事務所気付  
TEL 03-3508-7091  
FAX 03-3508-3871

発行人 伊藤信太郎  
協力 文化芸術推進フォーラム

題字 河村建夫

